

学生がデザインシンキングで 草薙の商店の魅力や課題を発見&改善する！



キーワード

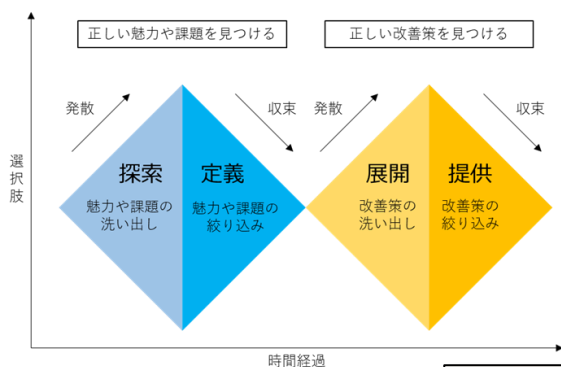
デザインシンキング・まちづくり・場のデザイン

○活動の目的

JR草薙駅は県内の乗車人員ランクで、第6位(約8,300人)であり、この数は新幹線が停車するJR掛川駅よりも1,000人ほど多い状況です。背景として、常葉大学と静岡県立大学の存在が挙げられますが、一方で草薙商店会は若年層に商店の魅力を認知させる方法について課題感を抱いていました。本活動は常葉大学造形学部デザインシンキングを学ぶ授業(全15回)をハブとして、学生と各商店をつなぎ、店舗やサービスの魅力や課題をデザインシンキングの手法を使って深掘りし、付加価値をもたらす改善策を提案したプロジェクトです。

○デザインシンキングについて

デザインシンキングはコトやモノのデザインを検討する際にデザイナーがたどる過程を、ビジネスの課題を解決するために応用する考え方です。柱になるのが、利用者視点です。デザインシンキングでは利用者の立場になって、対象の課題やニーズを深掘りします。この考え方をを用いることで、事業者側が把握していない問題点を浮き彫りにしたり、適切な改善策を効率的に考案できたりするため、デザインシンキングはデザインとは無縁であった多くのビジネスパーソンに広がり始めています。以下はダブルダイヤモンドと呼ばれ、デザインシンキングのプロセスでよく活用される図です。



教員名 村井貴
所属学部・学科 造形学部造形学科
職位 准教授



○具体的な動き

草薙商店会の5店舗(伊藤電気、春田眼鏡店、ミヤマパン、アレグロ・アッサイ、カリヨン書店)にご協力いただきました。2023年5月8日の授業では静岡市役所の職員から、商業振興やまちづくりの現状に関してご指導いただきました。7月3日の最終発表回では、静岡信用金庫草薙支店の研修センターを会場として貸していただきました。



商店への改善策をまとめた発表用ポスターの一案

連携先
草薙商店会 静岡信用金庫草薙支店研修センター
静岡市商業労政課・清水都市整備課